

# ICTで 授業 をDX!

学年 小学校6年 教科 国語 など

## 効率的に進めて、深い学びを獲得せよ!!

使用するアプリケーション等  
Google Jamboard

単元・題材 「鳥獣戯画」を読む

本時の目標 筆者が、自分の見方を読者に伝えるために、どのような工夫をしているのか考えよう

### ICTを活用することで できること

- ・前時の振り返りをわかりやすく、簡単に行うことができる。
- ・挙手して発言するよりも、《共同作業》を行うことで、情報の整理を効率的に行うことができる。
- ・ICTを使用することで削減できた時間を使って、児童にとってより《深い学び》となるような活動を授業に組み込むことができる。
- ・早く終わった児童は、ICTを活用して、自席にしながらも情報共有をすることで、よりよい時間となる。
- ・早く終わった児童が、ICTを活用して、情報共有することで書くことを苦手とする児童の手助けとなる。

## DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

### 1 導入

- ①絵と文を照らし合わせた筆者の見方を確認する。

### 2 展開

筆者が、自分の見方を読者に伝えるために、どのような工夫をしているのか考え、伝えよう。

- ①筆者の表現の工夫を書き出す。

- 文章を読み、「論の展開」「表現の工夫」「絵の示し方」について全体でおさえてから個々の読み取りを行う。

- ②全体で共通理解を図る。

### 3 まとめ

<まとめ>

- ・筆者の表現の工夫によって、読者が「鳥獣戯画」をより楽しめる作品として感じやすくなる。

- ①振り返りを行う。

DX!

## DX後 (赤字はICT活用場面)

### 1 導入

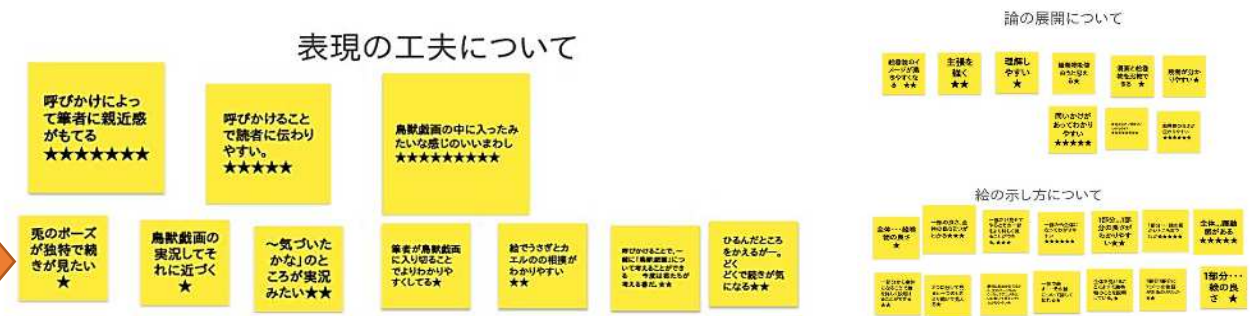
- ①端末上で前時の授業の板書をもとに振り返りを行う。
- ②絵と文を照らし合わせた筆者の見方を確認する。

### 2 展開

筆者が、自分の見方を読者に伝えるために、どのような工夫をしているのか考え、伝えよう。

- 事前に、自動的にGoogle ClassroomにGoogle JamboardのURLが貼られるようにしておく。

- ①【出し合う】なるべく端的にジャンルごとに短い文章で工夫をGoogle Jamboardに書き出す。



- ②【比較する】3つのジャンルを見て、自分が活用したい表現の工夫には、★を入力する。

★が多いものをシートの上段に持ってくるように指示を出す。

- ③【確認する】全員の端末を閉じさせ、★が多いものを確認していく ※★がない物がダメなわけではないことに触れる (情報モラル)

### 3 まとめ

- ①自分の意見を記述する。

- 自分が今後使用したい工夫を2つ選択し、なぜそれを選んだのか、効果について触れながら、理由を書く。

- ②読み合い 伝え合い

- 早く終わった児童は、ノートを写真にとり、Google Jamboardに載せて共有する。

- ③振り返りを行う。

### 授業者から (成果・課題・留意点)

・ICTを活用した共同作業のおかげで、大幅に授業を効率的に進められ、挙手を中心とする授業に比べて、子供たち一人一人が意欲的に活動することができていた。また、情報を出すだけでなく、★を使って比較することで情報の整理をし、良いとされる意見を全体で共有することができた。

・自分の意見を記述する場面は、時間を大幅削減できたことで可能になり、児童にとって今後につながる有意義な活動だった。

・ノートの文章を写真にとってGoogle Jamboardに載せるのは、操作が困難な児童もいた。